

平成24年行政事業レビューシート (復興庁、農林水産省)

事業名	森林整備事業(独法・復興関連事業)		担当部局庁	復興庁統括官付参事官(予算会計担当)		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度～未定		担当課室	林野庁森林整備部整備課		復興庁参事官 尾関良夫 整備課長 肥後賢輔	
会計区分	一般会計 東日本大震災復興特別会計		施策名	⑫森林の有する多面的機能の発揮			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人森林総合研究所法(附則第8条)		関係する計画、通知等	森林・林業基本計画(平成23年7月26日閣議決定) 独立行政法人森林総合研究所業務方法書(平成20年4月1日付19林整研第1475号農林水産省指令) 中期目標(平成23年3月2日付22林整第814号農林水産省指令) 中期計画(平成23年6月30日付23林整第276号農林水産省指令)			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	土地所有者自身による森林整備が困難な奥地水源地域において、独立行政法人森林総合研究所が森林を造成し、国民生活に不可欠な水の安定供給や国民の生命・財産を脅かす土砂の流出・崩壊の防止に寄与することで、県域を越えた下流域全体における「緑のダム」機能を確保すること、また、農林業における生産条件の不利な中山間地域の森林・農用地の保全・整備の推進等を図り、農林業の持続的な生産活動と公益的機能の維持増進を図ることを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○水源林造成事業 重要な流域等の保安林(予定地を含む)において、立木のない、ササやシダ等しか生育していない荒地などを対象に植林し、モザイク状の小面積伐採や針広混交林・複層林への誘導などを通じて多様な森林を造成、低コストながら壊れにくい作業道の開設等を行うための技術指導や、これらの整備に係る費用負担により、速やかな水源林の造成に対し定額補助。 特に、本事業では、東日本大震災により林地荒廃等の森林被害が発生した地方公共団体等や東海・東南海・南海地震の防災対策推進地域に指定された市町村のうち過去に林地崩壊等の森林被害が頻発した市町村を中心に、適切な保育・間伐等の実施による災害に強い森林づくりを図る。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		当初予算	-	-	-	1,147 409(復興庁計上)	1,347 1,481(復興庁計上)
		補正予算	-	-	2,002(農水省計上)	-	-
		繰越し等	-	-	△1,937	1,937	-
	計	-	-	65	3,493	2,828	
	執行額	-	-	65	-	-	
執行率(%)	-	-	100%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (25年度)
	水土保全機能の維持向上 育成途中にある水土保全林(土壌の保持や保水機能を重視する森林)のうち、機能が良好に保たれている森林の割合 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	%	-	-	73.70 (75.48)	78.68
		達成度	%	-	-	94 (96)	-
	森林の多様性の確保 多様な樹種や階層からなる森林への誘導面積 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	万ha	-	-	3.4 (3.96)	7.2
		達成度	%	-	-	47 (55)	-
	森林資源の循環利用 森林施業の集約化や機械化に必要な路網等の林業基盤の整備により、木材の安定的かつ効率的な供給が可能となる育成林の資源量 ※下段()書きは年度目標値、上段は年度実績値	成果実績	百万m ³	-	-	1,170 (1,150)	1,210
達成度		%	-	-	97 (95)	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	水源涵養機能等の森林の有する公益的機能を持続的かつ高度に発揮させるための森林施業面積	活動実績 (当初見込み)	ha	-	-	57,766 (47,743)	- (42,830)
単位当たりコスト	-		算出根拠	-			
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由			
	水源林造成事業費補助(農水省計上)	1,147	1,347	昨年の台風12号等激甚な災害により被害を受けた市町村への対応による増			
	水源林造成事業費補助(復興庁計上)	409	1,481	一定の空間線量率を超える市町村等への対応による増			
	計	1,556	2,828				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>水源林造成事業は、水源かん養上重要な森林のうち、無立木地など機能が低下している森林を急速かつ計画的に整備し、水源のかん養機能などの早期の回復に必要な事業である。特に、本事業は、被災地等の森林被害が発生した地方公共団体において、適切な間伐等の森林施業を実施することとしているため、緊急性、優先度が高い。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>本事業は、森林の保全や多面的機能の持続的な発揮に必要な不可欠な事業であり、厳しい財政事情の下でも事業量が確保されるよう、コスト削減に向けた不断の見直しを徹底する必要がある。以上のことから、「コストの削減」を行うべきであり、本事業としては「一部改善」とする。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
執行等改善	<p>本事業においては、これまで再生砂利の利用、長伐期化の推進などによる工事・森林造成コスト縮減を進めてきたところであり、引き続き、コスト縮減に向けた取り組みを徹底し、更なるコスト縮減を進める。</p>		
補記 (過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p>事業のURL http://www.green.go.jp/annai/gaiyou.html http://www.green.go.jp/gyoumu/zorin/index.html</p>			
平成22年行政事業レビュー		平成23年行政事業レビュー 3補0052	

※平成23年度実績を記入

農林水産省(林野庁)
65百万円



A
(独)森林総合研究所
森林農地整備センター
65百万円

水源林造成事業の実施箇所決定、技術指導、水源林造成に要する費用負担



【水源林造成に係る費用負担】

水源林造成事業
B
造林者
65百万円
藤仲林材(株)
3百万円 外56者

造林・間伐等の森林整備の実施

造林地の管理(火災、有害動物等による被害の予防、境界の保全等)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.(独)森林総合研究所 森林農地整備センター					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
造林間伐等 経 費	水源林造成に係る費用負担	65			
旅費	事業の実施に係る指導・検査等の旅費	0			
計		65	計		0
B.造林者					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
造林間伐等 経 費	水源林造成に係る実施経費(藤仲林材 (株) 3百万円外56者)	65			
計		65	計		0
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の金
 額が支出されて
 いる者について
 記載する。費目
 と使途の双方で
 実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	(独)森林総合研究所森林農地整備センター	水源林造成事業の実施箇所決定、技術指導等	65	-	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1	藤仲林材(株)	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
2	気仙地方森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
3	田辺市	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
4	個人	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
5	岩手中央森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
6	和歌山県森林組合連合会	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
7	陸前高田市森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
8	本宮町森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	3	-	-
9	日光市森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	2	-	-
10	佐伯広域森林組合	水源林造成事業のうち、造林・間伐等の森林整備業務	2	-	-

C.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

F.

	支出先	業務概要	支出額	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					